



11月30日、石鏡町の山本都美男さんが令和4年度自治会等地縁による団体功労者総務大臣表彰を受賞しました。この表彰は、町内会長を長年歴任されるなど地域の活性化のために大きく貢献されたかたが対象となっています。

山本さんの好きな言葉は、「信念」。最後までやり遂げることを大事にし、若者が地域に気持ちよく住み続けられるように、地域おこし協力隊の受け入れや改革しながら行事を継続するなど、新しいことへの挑戦が自信にもなり、長年頑張れた秘訣であると話してくれました。

若者と共に住みやすい地域づくりに貢献



1月6日、ドローンの操縦やライセンス取得ができる国土交通省ホームページ掲載団体ドローンスクール&アグリワークスと「災害時における無人航空機による情報収集等に関する協定書」を締結しました。

この協定により、市内において大規模災害が発生または発生するおそれがある場合に、無人航空機（ドローン）を利用し、上空から災害状況などの情報を把握・収集することで、被災状況の把握や二次被害防止のほか、避難者の捜索などが可能となります。

災害時における無人航空機による情報収集等に関する協定書



1月3日、安楽島町の満留山神社にて大漁祈願と無病息災を願う弓立神事祭が行われました。この神事は江戸時代から続いており、選ばれた地元の男性が15メートル離れた的に矢を放ち、今年1年の吉凶を占うものです。矢が的に当たると「アターイリー」と歓声が、外れると「スコイリー」と声があがり、今年は18本中17本が的を射て「大漁豊作間違いなし」とのことでした。

安楽島氏子会役員の濱口義晴さんは「今年も無事開催できて良かった。年々手数が少なくなってきたが、これからも続けていきたい」と話してくれました。

安楽島で弓立神事が行われました



1月11日、市立図書館で鳥羽ロータリークラブから図書館への雑誌の寄贈式が行われました。同会は「地域のみなさんのために」と平成元年の図書館移転新築時から、毎年雑誌の年間購入費を寄贈していただいております、今回で34回目となります。

同会の会長である杉原新一さんは「たくさんのかたに利用してもらいたい」と話してくれました。

鳥羽ロータリークラブから雑誌寄贈